事務事業評価シート (評価実施年度: 平成27年度)

施策 I-2-1 売れる農林水産品・加工 上位の施策名称 品づくり

1.	事務事業の目的	• 概要	事務事業担当課長	農産園芸課長	森上 浩平	電話番号	0852-22-5123	
	事務事業の名称	農作物気象災害	三対策事業					
目的	(1) 対象	農業者						
	(2) 意図	時として甚大な被害をもたらす気象災害を可能な限り防止することができるようにする。						
事業概要	変動する気象要因により局所化と激甚化してきている農作物等への気象災害を防止するため、農業関係者に対し、気象予測情報を事前に提供する。							

2.成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	気象災害情報の提供割合	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		100.00	100.00	100.00	100.00	%
		(情報の提供回数) / (気象月報・災害対策情報の発行回数)	実績値	100,00	100.00	100.00	100.00		/0
			達成率		100.00	100.00	100.00		%
	指標名		年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		· •	目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	
	式•		実績値	0.00	0.00	0.00	0.00		
	定義		達成率		0.00	0.00			%

3重業書

	26年度実績	27年度計画					
事業費(b)(千円)	0	0					
うち一般財源(千円)	0	0					

4.改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた 改善策の実施状況	③改善策を検討中
-------------------------	----------

5.評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

- 気象庁から得る情報を必要に応じて農業関係機関(団体、県地方機関など)に提供し、共有化を図っている。
- ・平成26年12月に邑智郡を中心とした大雪により、188,00千円余りの災害(ハウス倒壊被害)が発生した。

6.成果があったこと(改善されたこと)

・ 昨夏は長雨冷夏で台風襲来も多かったが、出水や強風 などによる災害の発生件数はO件であった。

7.まだ残っている課題 (現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」

・農閑期(冬季)に農業災害(大雪によるハウス倒壊)が発生した。

②困っている状況が発生している「原因」

農閑期における気象予測情報に対する農業関係者の関心が低い。

③原因を解消するための「課題」

・降雪など冬季の気象予測情報の提供方法(伝達)について改善が必要である。

8. 今後の方向性 (課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)
・関係機関と協力し、重点防止期間の設定など農閑期に農業関係者が気象予測情報に関心を向けるよう啓発活動の実施を検討する。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既 存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいよう に、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れ となるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価(任意記載)